

岩井俊二監督や別所哲也さんらも評価！

注目の若手監督・堀川湧気の映画『もう一度生まれる』
3/25(土)～池袋シネマ・ロサほか、全国順次公開へ!!

株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井川幸広、以下C&R社)とギャガ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:依田 巽、以下GAGA)がサポートする映画『もう一度生まれる』(監督:堀川湧気)が、3月25日(土)から4月7日(金)まで、池袋シネマ・ロサで劇場公開されることが決定いたしました。今後、全国の映画館でも公開が予定されています。

『もう一度生まれる』は、C&R社の映像制作専門職社員・堀川湧気が監督を務めた自主制作映画です。コロナ禍で閉店を余儀なくされたスーパー銭湯を舞台に“喪失”と“再生”の2つの時間を描いた作品で、「第8回 京都国際映画祭」の「クリエイターズ・ファクトリー」エンターテインメント部門において入選および優秀賞を受賞したほか、「第32回ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」においても入選を果たしております。自主制作映画にもかかわらず、映画監督・岩井俊二氏や俳優・別所哲也氏などの著名人からも高い支持を受け、このたび、ついに劇場公開が決定いたしました。

本作品は、コロナ禍の2021年4月から5月にかけて撮影された作品です。堀川は、平日にフジテレビ報道番組「Live News α」の番組制作に携わったかわら、土日の空いた時間で映画制作のワークショップに通いながら本作を制作。「番組でもコロナ禍で苦しむ方々の想いや裏側に迫る時間が非常に増え、その際に見た、こぼれ落ちた想いや景色を何とかして、映像におとし込むことができないか」と思った」と制作のきっかけを語っております。収束の兆しがなかなか見えないコロナ禍において、私たちの“日常”に目まぐるしく迫りくる変化の数々。せわしない日々の中で忘れてしまいそうな「大切な何か」を見つめなおしたい方にピッタリの映画です。

なお、映画『もう一度生まれる』のもととなった作品『還る』も同時上映が決定しております。スーパー銭湯の清掃員として働く元プロレスラーの方を堀川自身が追ったドキュメンタリー作品です。映画を撮る前の堀川の目には何が映っていたのか…。そして『もう一度生まれる』に込めた思いとは…。『還る』を観ればその答えがわかるかもしれません。注目の若手映画監督・堀川湧気の両作品をお楽しみいただけるこの機会に、ぜひ劇場まで足をお運びください。

映画『もう一度生まれる』劇場公開 概要

【映画監督・岩井俊二氏のコメント】

都会で働く人たちの休息の場としての湯殿。お湯。その場と湯を支える人たちの汗もまた人生を巡る。そんな余韻の物語でした。

【俳優・別所哲也氏のコメント】

全ての営みに、始まりがあれば、終わりがある。でもそれは、この作品のタイトル通り、「もう一度生まれる」ためなのだ。

【映画評論家・春日太一氏のコメント】

自主映画の映画祭の審査員として過去1,000本ほどの作品に触れてきましたが、その中でトップクラスの出来でした。

そのほか、フジテレビアナウンサー・三田友梨佳氏や映画評論家・松崎健夫氏などからも作品を評価する声寄せられております。

<https://www.creativevillage.ne.jp/category/lp/128500/>

■ 日程

2023年3月25日(土)～4月7日(金)

■ 場所

池袋シネマ・ロサ

住所: 東京都豊島区西池袋一丁目37-12 ロサ会館内

地図: <https://www.cinemasosa.net/annai.htm>

■ 監督・脚本・編集・プロデューサー

堀川湧気(※プロフィールは2ページ)

■ キャスト

斉藤天鼓 / 笠松七海 / 入江崇史 / 伊澤恵美子 / 沖田裕樹 / 小山蓮



© 2021 堀川組「もう一度生まれる」制作チーム

【あらすじ】

スーパー銭湯の新人清掃員として働く市川亮太(20)は仕事を通し、“当たり前”の景色を保つこと“の難しさを知っていく。髪の毛1本でも気にする仕事の姿勢や、心臓部でもある“ろ過装置”の存在を知ることによって、清掃業の世界にのめり込んでいく。次第に、スーパー銭湯を物として捉えるのではなく、生き物であると捉えるようになる。そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、スーパー銭湯は休業を余儀なくされる。休業の間、清掃作業からも遠ざかり、客を向かい入れていた“当たり前”の景色“は失われていった。休業期間が長引く中、店長から1通のメールが届く。それは営業再開に踏み切ることなく、スーパー銭湯の閉店を知らせるものであった。メールを通し、閉店を知った亮太は、大きな喪失感を露わにしていく。清掃員たちは各々の形で、スーパー銭湯の最期に向き合うことになる。休業期間の浴場施設に足を踏み入れた亮太は、黒カビが生えた浴室を見て、「休業中もこの空間は生きていた」と改めて実感する。閉店を前に、亮太と清掃員たちの最期の清掃作業がはじまっていく…。

▼ 予告編はこちらから

<https://youtu.be/QBwKHswTACg>

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<https://www.cri.co.jp>

■ロケ地
おふろの国

■制作協力
ニューシネマワークショップ

■サポート
ギャガ株式会社
株式会社クリーク・アンド・リバー社

▼映画『もう一度生まれる』の作品情報はこちらから
<https://www.creativevillage.ne.jp/category/lp/128500/>

【本作に関するお問い合わせ】
株式会社クリーク・アンド・リバー社
映画『もう一度生まれる』担当
<https://forms.office.com/r/DXwiji4q3g>

堀川湧気 プロフィール/コメント



1995年生まれ。27歳。日本大学芸術学部映画学科で、映画やドキュメンタリーの制作について学ぶ。卒業時に優秀な卒業制作・論文に贈呈される「日藝・特別賞」を受賞。在学時、監督したショートフィルムがNHK「岩井俊二のMovieラボ シーズン2」にノミネートされ、テレビ出演を果たすと同時に岩井俊二監督と堤幸彦監督に作品についての講評を受ける。大学卒業後は、映像制作専門職社員としてクリーク・アンド・リバー社に入社。現在、フジテレビの報道番組「Live News α」の制作に携わっている。

2021年、監督・脚本・編集を務めた映画「もう一度生まれる」が京都国際映画祭にノミネート。ノミネートを通じて、準グランプリにあたる優秀賞も受賞した。

▼Instagram
<https://www.instagram.com/horikawa.yuki>

▼Twitter
<https://twitter.com/horiyuu06210>

▼FNNプライムオンライン インタビュー記事
<https://www.fnn.jp/articles/-/260521>

▼C&R社のテレビCMにも出演！
<https://youtu.be/Ou9re1DZAKm>

【コメント】

「もう一度生まれる」は生きた登場人物・環境を描くために、作品内のモチーフでもある、スーパー銭湯の清掃員の皆さまにたくさん話を聞かせていただきました。清掃員ならではの価値観や、仕事へのこだわり、そういった情報を自分の中にしっかりおとし込む事を強く意識しました。フジテレビの報道番組で働いている経験も非常に大きく、自分だけの視点に固執するのではなく、あらゆる方向性で人の感情やテーマを探るようにもなりました。まだまだ、力不足な自分ですが、今回の劇場公開は作品の感想を一つでも多くいただける貴重な機会なので、さらに力をつけられるように活かしていきたいと思います。映画に携わる人にとって、最高の晴れ舞台…！ご協力してくれた皆さんに改めて感謝とともに、思いっきり楽しみたいです…！

C&R社が制作に携わった報道番組においては、2021年にドキュメンタリー番組『死ぬまで生きてやろうじゃないか ～阪神・淡路大震災25年 神戸からの“音”がえし～』（制作：読売テレビ）が「第54回ヒューストン国際映画祭」ドキュメンタリー部門シルバー賞のほか、「ニューヨーク・フェスティバル」と「日本賞」の2つの国際的なコンクールでファイナリストに選ばれました、また、2020年には緊急報道特別番組『コロナ重症病棟 医師たちの闘い』が「新聞協会賞」を受賞。2019年には、ドキュメンタリー番組『ザ・ノンフィクション 父を殺した母へ～無理心中から17年目の旅～』（制作著作：フジテレビ、制作協力：C&R社）が「ニューヨーク・フェスティバル」で銅賞を受賞するなど、国内外から高い評価をいただいております。C&R社は今後も、ミッションである「プロフェッショナルの生涯価値の向上」のもと、クリエイターの方々がその能力を最大限に発揮できる環境づくりをめざしてまいります。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設立：1990年3月

代表者：代表取締役社長 井川幸広

拠点：東京(本社)・大阪・札幌・仙台・大宮・横浜・船橋・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇 / ソウル・上海・北京・ロサンゼルス

事業内容：映像・ゲーム・Webなどのクリエイターから、医療・建築・ITに特化したエージェント、プロデュース、ライツマネジメント事業を行う。同事業をコンピューターサイエンス・会計・法曹・ファッション・食・ライフサイエンス・舞台芸術・アスリート・アグリカルチャーの18分野に拡大し、34万5,000人のプロフェッショナルと4万5,000社のクライアントを掛け合わせ、国内18・海外4拠点で展開。XRやAI、メタバース、ドローン、プロフェッショナル専門の採用サイトや世界中の弁護士を結ぶSNSサービスなどにも周辺事業を拡大し、プロフェッショナルの叡智で革新的な事業を無限に創造しています。

URL：<https://www.cri.co.jp>（コーポレートサイト） | <https://www.cri.co.jp/website-sns/>（公式サイト・SNS一覧）
<https://www.creativevillage.ne.jp/>（プロフェッショナル×つながる×メディア「CREATIVE VILLAGE」）



【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<https://www.cri.co.jp>